

茨城県病院事業中期計画の概要

平成27年3月 病院局

第1 計画の策定趣旨

1 本計画の位置付け

本計画は、「第6次茨城県保健医療計画」に基づき、具体的な取組みを推進するために策定するものであり、平成26年度からの第3期病院改革期間（平成26年度～平成29年度）において、計画的な病院運営を図るための指針として策定するものです。第1期、第2期病院改革のこれまでの成果と課題をふまえ、平成22年に策定した「茨城県立病院改革プラン」を総合的に見直し改定したものです。

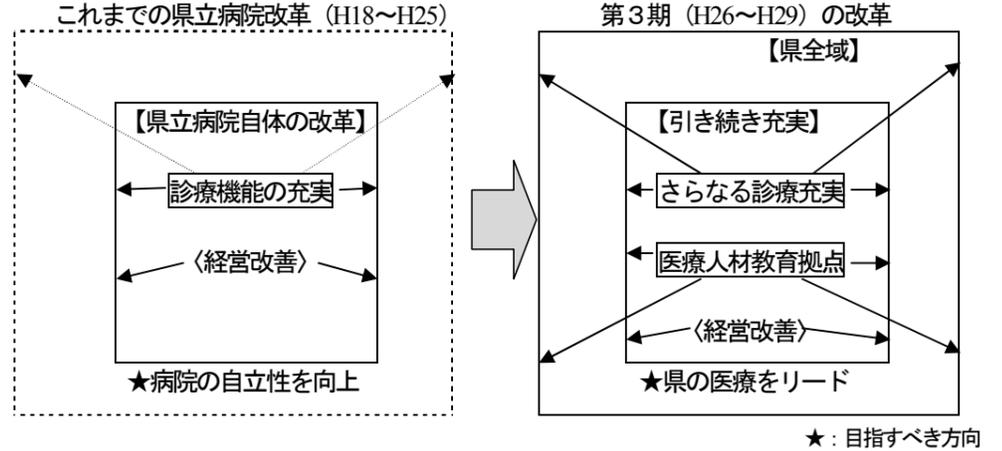
2 計画期間 平成26年度から平成29年度（4年間）

第2 計画を推進する基本的な方向性

◆機能強化の3つの方向性

- ①これまで果たしてきた診療機能のさらなる充実
不足診療科の充足を含め「死角なき医療」「切れ目なき医療」を目指した機能強化を図っていきます。
- ②医療人材の教育拠点の一角を担任
筑波大学と連携した教育機能の充実・研修体制の強化を図り、県央・県北地域をはじめ県内の医療人材の教育拠点としての機能を果たしていきます。
- ③県内医療の中核機能、連携機能、支援機能の中心的役割を發揮
①、②を充実させることにより、県立病院として県の保健福祉政策の実施や県内医療水準の向上を目指す取組みにおいて、中心的役割を發揮していきます。

◆県立病院の改革・運営の基本的なスタンス



第3 病院運営の具体的な取組み

(1) 目指すべき病院像

- 中央病院 : 診療機能の充実と臨床研究の推進とともに、人材育成に重点的に取り組み、大学病院に準じる役割を果たしていきます。
- こころの医療センター: 「地域に開かれた中核病院」「プロを育てる専門病院」「全国に発信する先進病院」を目指し、取組みの一層の推進を図っていきます。
- こども病院 : 地域医療への貢献、専門医療体制と教育及び研修・研究体制の充実について一層推進していきます。

(2) 病院機能強化の取組み（主なもの）

	中央病院	こころの医療センター	こども病院
高度・専門医療	・高度がん治療体制の充実 ・放射線に携わる人材育成拠点としての放射線センターの体制整備 ・手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の適応領域の拡大、緩和ケアセンター機能の充実等	・児童思春期精神医療、薬物・アルコール依存症への対応の充実強化 ・精神・身体合併症患者の積極的受入れ ・睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査と治療を行う睡眠センターの整備	・不足診療科等への常勤医の確保 ・遺伝子診断や遺伝カウンセリングの体制整備と遺伝科の設置検討 ・NICU（新生児特定集中治療室）の満床状態緩和のための適切な退院支援等
救急医療	・3次救急への対応も含めた体制の充実 ・産科・小児科初期救急体制の整備	・スーパー救急病棟の拡充整備 ・一般救急での全県的な救急体制の整備の検討	・医師確保による救急対応の充実 ・多発外傷などへの対応充実
地域との連携強化による地域医療の提供	・地域連携パスの適用促進やリハビリテーションの充実など急性期病院機能の充実 ・予防医療の充実（人間ドック等の充実等） ・産科再開・小児科入院の再開にむけた体制強化 ・透析センターの拡張と円滑な運用	・県内精神科医療機関とのネットワークの構築 ・アウトリーチ（訪問支援）活動の充実と県内各地域への普及促進 ・地域の医療機関からの紹介によるMRIや光トポグラフィーなどの活用	・こころの診療における、多職種で構成される思春期診療チームの編成等 ・成人に達した先天性心疾患患者などへの移行医療の提供 ・虐待対策の充実
教育・研究拠点の取組み	・医療人材の受入れ、育成、地域輩出等の基本的な指針となる「医療人材育成プラン」の策定 ・医師不足地域への医師派遣 ・看護師、栄養士等コメディカル向けの研修充実 ・生涯にわたっての医療教育の推進	・後期研修医の受入れとプログラムの充実 ・大学や専門病院等との連携強化による共同研究等の実施 ・自殺未遂者治療研究事業の推進 ・精神疾患の解明に関する研究の推進	・後期研修医（専修医）研修プログラムの充実 ・院内症例検討会や学術報告会の実施 ・院内に設置した「小児医療・がん研究センター」の充実と外部資金の獲得
患者サービス及び療養環境の向上	・中長期的展開を見据えた施設整備基本構想策定 ・患者満足度調査等による施設の利便性の向上	・新規外来の診療待ち期間の短縮 ・患者満足度調査等による施設の利便性の向上	・病院アートを取り入れた改修 ・患者満足度調査等による施設の利便性の向上
医療安全の徹底	・多発事例への前向きな介入	・精神科病院特有の危険防止措置強化	・組織横断的な対策強化
災害医療	・DMAT（災害派遣医療チーム）の複数化 ・エネルギーの多重化等によるライフライン強化	・災害医療専門研修への職員派遣 ・非常時での関係機関との役割分担等の検討	・災害医療専門研修への職員派遣 ・非常時での地域の産科等との連携強化
3病院間の連携	①精神・身体合併症等への対応（中央病院・こころの医療センター） ②小児医療の充実と移行医療への対応（3病院） ③健康寿命延伸への取組み（3病院） ④病院共通電子カルテシステムの構築と展開（3病院）		

(3) 経営改善の取組み

- ①収益確保対策 ②経費節減対策 ③未収金対策 ④意識改革・業務改善の推進

(4) 業務目標（主なもの）

	中央病院			こころの医療センター			こども病院		
	項目	H24実績	H29目標	項目	H24実績	H29目標	項目	H24実績	H29目標
高度・専門医療	外来化学療法件数	8,318件	10,000件	PSG検査数	87人	208人	造血細胞移植件数	14件	20件
	放射線治療（IMRT）件数	—	100件	光トポグラフィー検査数	—	550件	外来リハビリ数	—	500件
救急医療	救急搬送応需率	96.5%	維持	救急患者数	1,111人	1,200人	救急車搬送受入数	979人	1,000人
地域との連携強化による地域医療の提供	地域連携パス適用患者数	74人	200人	アウトリーチ訪問	45回	50回	在宅医療の指導患者数	348人	500人
	透析件数	8,962件	16,000件	情報誌発行回数	7回/年	9回/年			
教育・研究拠点の取組み	応援医師派遣数	100回	拡充	研修医受入数	2.8人	5人	研修医受入数	9.2人	13人
患者サービス及び療養環境の向上	患者満足度 外来	85.9%	90%	患者満足度 外来	52.1%	70%	患者満足度 外来	84.2%	90%
	※実績はH25 入院	90.9%	95%	入院	55.7%	70%	入院	90.1%	95%
災害医療	DMAT数	1チーム	2チーム	災害研修受講者数	2人	10人/4年	災害研修受講者数	—	10人/4年

第4 経営管理上の基本的な考え方

地方公営企業法の全部適用を継続するうえで、他の団体の先駆的な取組みや地方独立行政法人のメリットも参考にしながら、①定員管理と人材確保 ②財務運営 ③県立病院の経営管理で示す考え方に基づき、効果的な経営管理に取り組んでいきます。

第5 進行管理

本計画の着実な推進を図るため、病院局内の「経営戦略会議」において、目標の達成状況や取組の進捗を検証・評価し、計画の着実な達成を目指します。さらに、外部有識者で構成する茨城県立病院運営評価委員会（仮称）において客観的な点検・評価を受け、これを県議会に報告するとともに病院局のホームページなどで公表します。